

ウッドバッジ実修所第二教程 ビーバースカウト課程 セッションの目標

	セッション	セッションの目標
第1日	§ 1 実修所について (30分)	1. ウッドバッジ実修所の目的と目標を理解する。 2. ウッドバッジ実修所の運営を理解する。 3. コースの日程を理解する。
	§ 2 指導者の役割と責務 (90分)	1. 自隊の課題を認識し、主体的に解決する意欲を持つ。 2. ちかいとおきての理解を深める。
	§ 3 隊運営の共通理解 (90分)	1. スカウティングにおける一貫性について認識を深める。 2. ビーバースカウト隊におけるスカウト教育法の運用について認識する。
	§ 4 ビーバースカウト隊の隊集会 (60分)	1. ビーバースカウト隊の隊集会の流れについて理解する。 2. ビーバースカウト隊の隊運営の方法について認識する。
	§ 5 ビーバースカウト隊のプログラム (120分)	1. ビーバースカウト部門におけるプログラムプロセスについて認識する。 2. 活動目標とプログラムの関係を認識する。 3. より良いプログラムのための要素や年代特性について認識する。 4. ビーバースカウト部門における年間プログラムの目的と作成方法を認識する。
第2日	§ 6 隊集会実習 I (300分)	1. 隊指導者として隊集会プログラムを実施運営できる。
	§ 7 保護者・地域社会へのアプローチ (120分)	1. 保護者のニーズ、地域社会のニーズについて認識する。 2. 保護者とのコミュニケーションの重要性を認識する。 3. 保護者とのコミュニケーションを豊かにするための心構えとその具体的方法を理解する。 4. 保護者のスカウティングに対する理解や信頼度を高めるための具体的な手立てができる。
	§ 8 プログラム企画 I (60分)	1. ビーバースカウト年代の特性や興味・ニーズについて認識する。
	§ 9 プログラム企画 II (120分)	1. ビーバースカウトのニーズを十分に活かした隊集会プログラムを組み立てることができる。 2. 保護者のニーズ、社会のニーズを活かした隊集会プログラムを組み立てることができる。 3. スカウト教育法や活動目標に基づく隊集会プログラムを組み立てることができる。
第3日	§ 10 隊集会計画 (90分)	1. 充実した隊集会実施計画書を作成できる。
	§ 11 プログラム展開の準備 (75分)	1. 隊集会を充実させるためのさまざまな資源の活用方法について認識する。 2. プログラム展開をより豊かにする工夫と準備ができる。
	§ 12 隊集会実習 II (105分)	1. 隊集会実施計画書に基づいて隊集会を効果的に実施できる。
	§ 13 プログラム評価 (60分)	1. プログラムを評価することの重要性を認識する。 2. プログラムを評価する際の観点と評価方法について認識する。 3. 隊集会プログラムの評価ができる。
	§ 14 プログラムへのアプローチ (90分)	1. 活動への参加意欲を高めるための具体的な手立てができる。
	§ 15 隊集会計画 II (120分)	1. 自隊で実施する隊集会プログラムを作成する。
第4日	§ 16 第三教程（実務訓練）に向けて (60分)	1. 本研修をふりかえり、訓練ニーズを評価する。 2. 「実務訓練」のねらい、意義、その具体的な取り組み方法を理解する。 3. インサービスマサポートについて理解する。